

# 現在使われているお札以外にも、使える日本

**現**行の一万円、五千円、二千円、千円の日本銀行券は、法貨（国の法律によって通用力を与えられた貨幣）として無制限に通用します。では、これら以外に現在も有効な日本銀行券が何種類あるか知っていますか。

**日**本銀行券の発行は、1885年（明治18年）の「旧十円券」（大黒天像 通称：大黒札）以来、全部で53種類に上りますが、うち31種類は法令（注）により通用力を失いました。この結果、現在も有効な日本銀行券は、現行券を除いて18種類となり、その内訳は次のとおりです。

（注）「兌換銀行券整理法」（1927年〈昭和2年〉）、「日本銀行券預入令」（1946年〈同21年〉）、および「小額通貨の整理及び支払金の端数計算に関する法律」（1953年〈同28年〉）。



旧一円券



改造一円券



新一円券

**次**は、1946年（昭和21年）の新円切り替え（P23参照）に伴って発行が開始されたA系列（コラム参照）の「百円券」（聖徳太子像）、「十円券」（肖像なし）、「五円券」（同）、「一円券」（二宮尊徳像）と、1950年（同25年）から順次発行されたB系列

の「千円券」（聖徳太子像）、「五百円券」（岩倉具視像）、「百円券」（板垣退助像）、「五十円券」（高橋是清像）です。このうち、B系列券については、実際に使用したり、実物に触れたことがある方もいるのではないのでしょうか。



A百円券



A十円券



B千円券



B五百円券



A五円券



A一円券



B百円券



B五十円券

# 銀行券があるのですか？

## — 現在通用する日本銀行券 —

**最**後は、1957年（昭和32年）から順次発行されたC系列の「一万円券」（聖徳太子像）、「五千円券」（同）、「千円券」（伊藤博文像）、「五百円券」（岩倉具視像）と、1984年（同59年）より一齊に

発行が開始された、最も記憶に新しいD系列の「一万円券」（福沢諭吉像）、「五千円券」（新渡戸稲造像）、「千円券」（夏目漱石像）です。



C一万円券



C五千円券



D一万円券



D五千円券



C千円券



C五百円券



D千円券

## コラム

### お札の呼び名にアルファベットが付けられるのはなぜ？

お札には明治以降、発行されたお札を分類するために記号が付されており、改刷の都度変更されています。

例えば、2004年（平成16年）11月から発行されている福沢諭吉の一万円札、樋口一葉の五千円札、野口英世の千円札は「E」という記号を頭に付けて、それぞれE一万円券、E五千円券、E千円券と呼ばれています。E券の前のお札は「D」という記号が頭に付いており、守礼門の二千円札はD二千円券と呼ばれています。

これまでに発行されたお札の呼び名には、下表のような記号が使われています。

使用時期	シリーズ記号
明治中期～昭和10(1935)年頃まで	甲、乙、丙、丁
昭和17(1942)年頃～昭和20(1945)年頃まで	い、ろ
昭和21(1946)年以降	A、B、C、D、E